

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	
氏名	窪 拓摩
着任日	令和3年2月1日

活動月	令和6年7月(着任3年6ヶ月)
主な活動	1.全国より知覧茶Ambassador online school 2024の企画運営 2.未来創生協議会や茶業振興会各部会への出席と企画運営サポート 3.頤娃高校でのお茶授業を実施

1.全国より知覧茶Ambassador online school 2024の企画運営



写真: 森の学校での交流会風景

当月は、「茶」というテーマから各方面に派生した活動が多い一月でした。とりわけ茶業振興会各部会への参加や外部団体への活動報告などでの資料作成/準備で時間を割くことが多く、今後効率的に活動できるよう工夫が必要だと感じております。

さて、本年度で四期目の開催となるオンラインスクール「知覧茶Ambassador online school 2024」の募集期間を終え、本年新規で受講予定のみなさま、そして過去に「知覧茶アンバサダー」の認定をした方々への発送作業や各種ご連絡の業務を進めました。

地域おこし協力隊活動報告書

大変ありがたいことに、例年全国より、また海外からも多数のご応募をいただき人気企画にて、お盆明けの8月下旬から毎週土曜日の午前中に開催のスタート前からSNSを中心に盛り上がりを見せています。

昨シーズンにご報告をした際も挙げたと思いますが、最終的にはオンラインスクールから知覧茶の産地 南九州市での五感をフルに使った現地開催企画を参加者の方々からは多数望まれており、一刻も早く実行に移すべき内容であると感じます。

次月からはいよいよ当企画が始まり、次月以降も企画の経過報告をいたします。

2. 未来創生協議会や茶業振興会各部会への出席と企画運営サポート



写真: 未来創生協議会総会(上) / 茶業女性部役員会での体験案について(下)

大変嬉しいことに、南九州市民や企業の方々に「地域おこし協力隊」という存在が着々と認知してきているように感じるこの頃です。当月は、茶業部会などを中心に地元民間企業代表者などが集まって活動されている未来創造協議会総会にて、協力隊活動の一部を紹介する機会をいただき、エリアの垣根をこえて交流することができました。

地域おこし協力隊活動報告書

また、茶業女性部役員会では、今回の知覧茶アンバサダーオンラインスクールでの「お茶を使った料理や活用法」の内容を決めをする時、南九州市内の特産品を販売する企業の方にご参加をいただき、お茶と合わせるお茶菓子を一緒に作るレクチャーを実践しました。知覧茶PRには欠かせない「魅せる力」の感性の高い女性部の人たちと、今後もこういったPR企画案を進めた方が、より魅力的なPR企画が作りだせるのではないかと強く感じております。

3. 頴娃高校でのお茶授業を実施



写真:お茶についての質問に答える生徒たち

地元頴娃高校生の総合的な学習の時間として、当月お茶の授業を実施しました。身近にある「知覧茶」について、意外にも知らないことが多いのは高校生も同じで、茶の歴史や効能、淹れ方などを知っていただきました。

生徒の中には茶農家や茶業関係者のご家族を持つ生徒もおり、どこか少し誇らしげに茶の話しをしていたことがとてもよかったなと印象に残っております。

最近ではお家庭に急須を持たないところも多くなり、またわざわざ急須やリーフ茶を買わずとも美味しく簡単に手に入れることができるペットボトル茶が相当普及している状況ではありますが、よく茶と比較されるコーヒーと同様、本物の味を知ってから、ペットボトル→ドリップやティーバッグ→急須で入れた茶という段階を経て、本格的な味を楽しみ消費するのではないかと常々思っております。

茶業関係者の中には、急須で淹れたお茶以外が紛い物のように発言をされる方もおられますが、まずは茶を入れるのが「面倒くさい」「難しい」「古くさい」といったネガティブマインドの敷居をできるだけ低くし、最終的な急須で淹れる一番茶を楽しむといったプロセスを伝えていくことが重要だと感じます。

以上簡単ではございますが、当月の報告といたします。